

科目ナンバリング		G-MED11 5E037 LB87			
授業科目名 <英訳>	創薬医学概論 Introduction to Drug Discovery and Development	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 特定教授 早乙女 周子		
配当学年	修士	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
<p>現在の創薬は、従来の低分子医薬品の他、抗体、核酸医薬などモダリティが多様になってきている。また、薬物送達技術やAIなどの技術も進展してきている。</p> <p>講義の前半では、低分子医薬品を中心に標的探索から臨床試験までの創薬プロセス、製薬企業及びバイオベンチャーにおけるビジネス戦略、薬事、モダリティの概要についての基礎知識を習得する。また、講義の後半では、製薬企業、アカデミア、バイオベンチャー関係者より創薬事例、創薬基盤技術等の具体的事例について紹介する。</p>					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 創薬シーズの発掘から医薬品承認までのプロセスと、各ステージに必要なファクター（創薬技術、薬事、経済評価）を説明することができる。 2. 創薬戦略、創薬ビジネスモデルを提案することができる。 3. 創薬基盤技術について説明することができる。 					
【授業計画と内容】					
<p>以下のような内容について授業を行う予定である。（全15回）</p> <p>第1回 4月12日 5限（MIC1階セミナー室）イントロダクション 創薬ビジネスの現状</p> <p>第2回 4月18日 6限（MIC1階セミナー室）医療産業とモダリティI</p> <p>第3回 4月25日 6限（MIC1階セミナー室）医療産業とモダリティI</p> <p>第4回 5月15日 5限（MIC2階会議室）創薬におけるビジネス戦略</p> <p>第5回 5月30日 6限（MIC1階セミナー室）薬事</p> <p>第6回 6月7日 5限（MIC1階セミナー室）創薬標的探索からスクリーニング</p> <p>第7回 6月21日 5限（MIC1階セミナー室）非臨床試験</p> <p>第8回 7月5日 5限（MIC1階セミナー室）探索臨床</p> <p>第9回 7月12日 5限（MIC1階セミナー室）臨床試験</p> <p>第10回 10月10日 5限（MIC1階セミナー室）DDS</p> <p>第11回 10月25日 5限（MIC1階セミナー室）JCRファーマの創薬研究</p> <p>第12回 以降（調整中）</p>					
*外部講師の都合により日程変更の可能性有					
【履修要件】					
<p>創薬医学講座の学生は、修士課程2回生で履修すること。</p> <p>上記以外の学生については、修士課程1回生でも履修可。</p>					
創薬医学概論(2)へ続く					

創薬医学概論(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（講義中の質問、講義内容の理解度、講義に対する積極性）、レポートにより、総合的に評価する。

[教科書]

使用しない
必要な資料は講義にて配布する。

[参考書等]

（参考書）

長野哲雄 他 『創薬化学ーメディシナルケミストへの道ー』（東京化学同人, 2018）ISBN:978-4-8079-0948-3（知的財産経営学にて閲覧可能）

石井明子 他 『バイオ医薬 基礎から開発まで』（東京化学同人, 2020）ISBN:978-4-8079-0981-0（知的財産経営学にて閲覧可能）

長野哲雄 他 『次世代医薬とバイオ医療』（東京化学同人, 2022）ISBN:978-4-8079-2018-1（知的財産経営学にて閲覧可能）

[授業外学修（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める

（その他（オフィスアワー等））

講義の一部は、「医療ビジネス・イノベーション概論」（社会健康医学系専攻開講科目）と一緒に
行うため、当該講義を履修後、「医療ビジネス・イノベーション概論」を履修した場合は、「医療
ビジネス・イノベーション概論」は増加単位となります。

【連絡先】

創薬医学講座

E-mail : contact@ddm.med.kyoto-u.ac.jp Tel: 075-366-7417

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。